

ま ちかど インタビュー

安心・安全なお百姓さんのお店

二ツ沼総合公園の国道沿いに伝統野菜や手づくり加工品などを販売する直売所がオープンし、毎週土曜日と日曜日に営業されています。

前回の「まちかどインタビュー」では、直売所に商品を提供している生産者の方に抱負などを伺いましたが、今回は直売所をよく利用される消費者の方にご意見・ご要望を伺いました。



根本 松郎さん
下北迫・西町

自転車で買い物に来た根本さんは、「近くで生産者の顔が見えて新鮮な野菜が買えるので安心です。ここで生産者とお話をするのも楽しみにしています。」と言いなながら、「もう少し品数が多いともっと楽しめます。特に今日はゴボウがあれば良かったのに」と笑顔で話していました。



栗田 ひさ子さん
下浅見川・広長

直売所の営業日が土日なので、娘さんの勤めが休みのときによく利用するという栗田さんは、「店頭にならないものでも頼んでおくとう意してもらえり、食べ方が分からない品物の調理方法も教わることができるので便利です。でも、入口が狭いのでもう少し広くなれば、もっとお客さんも増えるのでは」と話していました。



茂木 茂男さん
中央台二丁目

毎週奥様と一緒に直売所を利用しているという茂木さんは、「安くて新鮮な品物があるので助かります。運営面ではいろいろあるでしょうが、頑張つて長く続けてほしいです。」と話されました。また、直売所について「少し目立たないので、建物の雰囲気を変えろとか、例えば、『安心・安全なお百姓さんのお店』または『かあちゃんのお店』といった可愛いイラスト入りで人目を引くような看板でも立てればいいのに」といったご意見もいただきました。

(インタビューア 塩 史子)



入口が狭い直売所
(二ツ沼総合公園)

編集後記

わずかに色づいた里山と、黄色に輝く取り入れ真つ最中の稲田に秋本番を感じる。

今年の後半は大きな出来事が相次ぎ、記録的な猛暑と台風4号・9号の本県直撃、中越沖地震と柏崎刈羽原発の被害、福田内閣の発足、郵政民営化スタート等々がある。

特に柏崎刈羽原発問題は、電源立地町として大きな関心を持たざるを得ない。

この被害により逼迫する電力供給のため、広野火力6号機の早期着工・営業運転開始を期待する声が上がるのは当然の成り行きである。

福田首相も提唱している『自立と共生』を目指し、腰を据えて6号機問題に取り組んで行かなければならない。(鈴木正範)

広報委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 坂本 紀一 |
| 委員長 | 中津 伸一 |
| 副委員長 | 渡邊 正俊 |
| 委員 | 鈴木 紀昭 |
| 委員 | 塩 史子 |
| 委員 | 鈴木 正範 |

次の定例会は12月です